

「自立、協働、自信・誇りと感謝」に満ちた学校づくり



一つ會にわれら喜びて

日ナ福での新年の幕開け

R3. 1. 15発行
文責：副校長

新年明けましておめでとうございませう。新しい年、令和3年がスタートしました。皆様はどのような新しい年を迎えられたでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に明け暮れ、振り回された一年でした。年が明けると共に徐々に落ち着くと安易に考えていたが、もう暫くは、このウィルス

との戦いは続きそうです。年明け早々に一都三県（東京、横浜、千葉、埼玉）に2度目の非常事態宣言が発令されましたが、先日、近畿、東海、福岡も対象に加わりました。国内感染者も3週間で10万人のペースで増加し、なお地方に拡大している状態です。

本県においては13日現在で発症率は全国11位という状況で、感染

3学期 始業式 自分の殻を破る

例年より一日早く始まった始業式（7日）は、前日からの大雪警報発令により、始業式後に一斉下校を決定しましたので、校長先生からの講話だけ、校内放送で行いました。その内容（要約）をご紹介します。

新年を迎えるというのは不思議です。12月31日にはいつものように日が暮れて、1月1日にもいつものように朝を迎えたのに、暦が2021年、令和3年に変わっただけで、何となく新鮮な感じがする、身が引き締まります。

時間の流れは変わらないのに、1年という区切りをつけて、過去を振り返ったり、未来を予測し、こうなりたいと希望を持つたりすることで、今よりさらに力を伸ばすチャンスを作ろうとするのです。しかし、チャンスは、つかみ取らないとすぐに逃げてしまいます。ぜひ、未来志向の「こうなりたい、こうしたい」とい

う思いを言葉にしてください。そしてその言葉を実現するために、自分の力を大いに伸ばしていきましょう。そんな皆さんに、いつもお願いです。一つ目は、あいさつと返事に力を込める。二つ目は、友達、家族、地域の人の良さを見つけて、感謝する。三つ目は、自分は成長するぞ、という強い意志を持つ。「あいさつ」「はい」「ありがとう」で自分を鍛え、未来志向の「こうなりたい、こうしたい」という強い意志を持ちましょう。

そして、仕上げの3学期用に新しく4つ目。自分の殻を破る。今まで「これがあたりまえ」「いつも通り」と思い込んでいたり、「これでいいや」と自己満足していたものをいったんリセットして、もっと素晴らしいものに新しくしていく。その勇氣、チャレンジ精神は、きつとあなたを成長させます。もつともつと自信を持って、前に進んでいってほしいと願っています。そして、私も「自分の殻を破る」を自分の今年のテーマにしていきたいと思います。



書道大会

1月13日に書き初め大会を行いました。これまででは、硬筆は教室で、毛筆は武道場で一斉に行うというように、形態に応じて場所を変えて行っていました。今年

はコロナウィルス感染症拡大防止のため、各教室で行いました。校長先生の話の後、それぞれの学年で集中して頑張っていました。「書道」は、筆と紙を通して自己表現

をすることを目的とする芸術です。が、学校の教育活動で行う「書写」（今回は硬筆と毛筆）は、国語科の学習内容に位置づけられており、正しい筆順でお手本通りに書くことで、バランスよく綺麗に整った字が書けるようになることを目的としています。子どもたちは静ま

- #### 各学年の課題
- 【小学生】
 - 1年「ふじ山」（硬筆楷書）
 - 2年「元氣にあいさつ」（同）
 - 3年「友だち」（毛筆楷書）
 - 4年「明るい心」（同）
 - 5年「新しい風」（同）
 - 6年「将来の夢」（同）
 - 【中学生】
 - 1年「不言実行」（毛筆行書）
 - 2年「新たな目標」（同）
 - 3年「無限の可能性」（同）

夢と希望が実現できる年に

私（副校長）は今年、書き初めに挑戦しました。未来に希望のもてる文字を書いてみようと思

頑張る受験生



に、中学三年生の高校入学試験が始まります。受験生にとつては人生で初めての大きな岐路に立ちます。不安や心配も大きいと思いますが、自分の力を信じて胸を張って頑張ってきて欲しいと思います。がんばれ受験生！

特に20日（水）を皮切りに、